

※年代決定の方法※

- (1) 相対年代 遺跡の地層の上下から…「～よりも～のほうが古い」
- (2) 絶対年代 科学的分析方法で…「約～年前」「西暦～年」 ※誤差が大きい

<例>₁放射性炭素(¹⁴C)測定法…半減期(動植物の死後約5700年)を利用

₂年輪年代法…木材の年輪の幅が気候の変化に対応することを利用

AMS法、フィッシュントラック法、花粉分析、プラントオパール分析、黒曜石水和層測定法など

縄文文化の成立 ₃1万3千年前 (4完新世)

【自然環境の変化】気候の₅温暖化

₆海水面上昇(₇縄文海進)→日本列島の形成・漁撈^{ぎょろう}の活発化

₈針葉樹林から₉落葉広葉樹林(ブナ・ナラなど)や₁₀照葉樹林(シイなど)へ

₁₁大型動物が絶滅→中小動物 <例> ニホンシカ・イノシシ・ウサギ

【技術の進歩】自然環境の変化に対応

1) ₁₂弓矢の発明、落とし穴の使用

2) ₁₃磨製石器の発明 ※ ₁₄打製石器も併用

(例)・石斧…₁₅磨製石斧は木材伐採 →₁₆丸木舟や住居の製作

₁₇打製石斧は石鍬(原始農耕)

・₁₈石鍬…矢じり(主に打製) ・₁₉石匙…獣の皮を剥ぐ(主に打製)

・₂₀石錘…漁撈用の網のおもり ・₂₁石皿と₂₂すり石…木の実のすりつぶし

3) ₂₃骨角器の発達…材質は主にシカの角 →釣針・鈎・縫針など

4) ₂₄縄文土器の発明…煮る、貯蔵することが可能に→食糧の量・質の向上

600～800℃の低温で焼く→黒褐色、厚手でもろい

₂₅草創期→早期→前期→中期→後期→晩期 ※最古は13,000年前?

種類 深鉢形土器(全期間)、尖底土器(早期)、火炎土器(中期)、注口土器(後期)、

₂₆亀ヶ岡式土器(晩期：₂₇亀ヶ岡遺跡[青森])など

→高度で安定した ₂₈狩猟採集 →₂₉農耕をともわない新石器文化(北ユーラシア型)

※エジプトやメソポタミアなど、世界の大半の地域では新石器(磨製石器)の使用と農耕の開始は同時期
ただし、一部では農耕も行われていた…「₃₀縄文農耕」

<例>₃₁尖石遺跡[長野]などでの焼畑農耕

各地でクリ林の管理・増殖、ヤマイモなどの保護・増殖、マメ類などの栽培

₃₂板付遺跡[福岡]や₃₄菜畑遺跡[佐賀]では縄文晩期(弥生早期)に水稻耕作が始まる

縄文時代の生活と社会

住居 ³⁵ **竪穴住居** …地面を掘り込んで作る ³⁶ **掘立柱** ほったてばしら 内部に³⁷ **貯蔵穴** 1戸に数人

集落…基本は4～6戸 水辺に近い ³⁸ **台地上**
中央の広場を囲んで環状(円形)または馬蹄状(U字形)

☆³⁹ **貝塚** …ゴミ捨て場(兼 埋葬場) 主に貝殻 当時の ⁴⁰ **海岸線の復元**が可能
石器・土器・骨角器・獣骨・人骨・食物など残存

社会 ⁴¹ **狩猟採集** 経済 →自然状況に左右、食料の蓄積(=貧富の差)はない
→⁴² **身分の差**はない(統率者は存在) …住居規模ほぼ同じ、共同埋葬、副葬品なし

風俗 ⁴³ **呪術的風習**

<例>⁴⁴ **屈葬** …手足を折り曲げて埋葬 死者の復活を防ぐ?

⁴⁵ **抜歯** …前歯の一部をぬく 成人のための儀式?

⁴⁶ **研歯**…前歯をフォーク状にけずる 統率者の印?

⁴⁷ **土偶**、⁴⁸ **石棒**(棒状)、石版、土面、土版など

…土製の人形 女性像が多い 遮光器土偶・ハート形土偶など

⁴⁹ **アニミズム** (⁵⁰ **精霊崇拝**、⁵¹ **自然崇拝**)…あらゆる自然物・自然現象に靈威を認める

交易 重要な物資についてはかなり遠方とも交易

<例>⁵² **黒曜石** …黒色の火成岩 石器の材料 主な産地は、⁵³ **和田峠**[長野]など

⁵⁴ **サヌカイト** (讃岐石)…黒色の火成岩 石器の材料 ⁵⁵ **二上山**[大阪]など

⁵⁶ **ひすい**(硬玉)…緑色の鉱石 まがたま 勾玉の材料 産地は糸魚川・姫川[新潟]

主な遺跡

⁵⁷ **大森 貝塚** [東京]…後期 アメリカ人⁵⁸ **モース**が初めて調査 日本考古学発祥の地

⁵⁹ **三内丸山 遺跡** [青森]…1994年発見 中期の大集落跡(数百人規模)

⁶⁰ **夏島貝塚** [神奈川]…早期 日本最古級の土器

⁶¹ **鳥浜貝塚**[福井]…縄文草創期～前期 糞石・丸木船など多数の出土品

⁶² **加曾利貝塚**[千葉]…中～後期 国内最大の貝塚

⁶³ **津雲貝塚**[岡山]…後～晩期 174体の人骨が出土。

上野原遺跡[鹿児島]…早期の集落跡 「国内最古、最大級の定住化した集落跡」

大湯環状列石[秋田]…後期 日本で最大のストーンサークル 共同墓地?

正誤問題練習 <センター2010B追試験、より>

X 縄文時代になると、木の加工などが比較的容易になる磨製石器の登場によって、打製石器が作られなくなった。X

Y 縄文土器は、火にかけて使用はできないので、おもに貯蔵道具や埋葬道具として用いられた。X

※年代決定の方法

- (1) 相対年代 遺跡の地層の上下から…「～よりも～のほうが古い」
- (2) 絶対年代 科学的分析方法で…「約～年前」「西暦～年」 ※誤差が大きい

<例>₁放射性炭素(¹⁴C)測定法…半減期(動植物の死後約5700年)を利用

₂年輪年代法…木材の年輪の幅が気候の変化に対応することを利用

AMS法、フィッシュントラック法、花粉分析、プラントオパール分析、黒曜石水和層測定法など

縄文文化の成立 ₃1万3千年前 (4完新世)

【自然環境の変化】気候の₅温暖化

₆海水面の上昇(₇_____)→日本列島の形成・漁撈^{ぎよろう}の活発化

₈針葉樹林から₉落葉広葉樹林(ブナ・ナラなど)や₁₀照葉樹林(シイなど)へ

₁₁大型動物が絶滅→中小動物 <例> ニホンシカ・イノシシ・ウサギ

【技術の進歩】自然環境の変化に対応

1) ₁₂_____の発明、落とし穴の使用

2) ₁₃_____石器の発明 ※ ₁₄打製石器も併用

(例) ・石斧…₁₅磨製石斧は木材伐採 →₁₆_____や住居の製作

₁₇打製石斧は石鋏^{いわ}? (原始農耕?)

・₁₈_____…矢じり(主に打製) ・₁₉_____…獣の皮を剥ぐ(主に打製)

・₂₀石錘…漁撈用の網のおもり ・₂₁石皿と₂₂すり石…木の実のすりつぶし

3) ₂₃_____の発達…材質は主にシカの角 →釣針・^{もり}銚・縫針など

4) ₂₄_____の発明…煮る、貯蔵することが可能に→食糧の量・質の向上

600～800℃の低温で焼く→黒褐色、厚手でもろい

₂₅草創期→早期→前期→中期→後期→晩期 ※最古は13,000年前?

種類 深鉢形土器(全期間)、尖底土器(早期)、火炎土器(中期)、注口土器(後期)、

₂₆亀ヶ岡式土器(晩期：₂₇亀ヶ岡遺跡[青森])など

→高度で安定した ₂₈狩猟採集 →₂₉農耕をともしない新石器文化(北ユーラシア型)

※エジプトやメソポタミアなど、世界の大半の地域では新石器(磨製石器)の使用と農耕の開始は同時期
ただし、一部では農耕も行われていた…「₃₀縄文農耕」

<例>₃₁尖石遺跡[長野]などでの焼畑農耕

各地でクリ林の管理・増殖、ヤマイモなどの保護・管理

₃₂_____遺跡[福岡]や₃₄_____遺跡[佐賀]では縄文晩期(弥生早期)に水稻耕作が始まる

縄文時代の生活と社会

住居 35 _____ …地面を掘り込んで作る 36 ^{ほったてばしら}掘立柱 内部に37 貯蔵穴 1戸に数人

集落…基本は4～6戸 水辺に近い 38 台地上
中央の広場を囲んで環状(円形)または馬蹄状(U字形)

☆39 _____ …ゴミ捨て場(兼 埋葬場) 主に貝殻 当時の 40 海岸線の復元が可能

石器・土器・骨角器・獣骨・人骨・食物など残存

社会 41 狩猟採集経済 →自然状況に左右、食料の蓄積(=貧富の差)はない

→42 身分の差はない(統率者は存在) …住居規模ほぼ同じ、共同埋葬、副葬品なし

風俗 43 呪術的風習

<例>44 _____ …手足を折り曲げて埋葬 死者の復活を防ぐ?

45 _____ …前歯の一部をぬく 成人のための儀式?

46 研歯…前歯をフォーク状にけずる 統率者の印?

47 _____、48 石棒(棒状)、石版、土面、土版など

…土製の人形 女性像が多い、遮光器土偶・ハート形土偶など

49 _____ (50 精霊崇拝、51 自然崇拝)…あらゆる自然物・自然現象に靈威を認める

交易 重要な物資についてはかなり遠方とも交易

<例>52 _____ …黒色の火成岩 石器の材料 主な産地は、53 和田峠[長野]など

54 _____ (讚岐石)…黒色の火成岩 石器の材料 55 二上山[大阪]など

56 ひすい(硬玉)…緑色の鉱石 ^{まがたま}勾玉の材料 産地は糸魚川・姫川[新潟]

主な遺跡

57 _____ 貝塚 [東京]…後期 アメリカ人58 モースが初めて調査 日本考古学発祥の地

59 _____ 遺跡 [青森]…1994年発見 中期の大集落跡(数百人規模)

60 夏島貝塚 [神奈川]…早期 日本最古級の土器

61 鳥浜貝塚 [福井]…縄文草創期～前期 糞石・丸木船など多数の出土品

62 加曾利貝塚 [千葉]…中～後期 国内最大の貝塚

63 津雲貝塚 [岡山]…後～晩期 174体の人骨が出土。

上野原遺跡[鹿児島]…早期の集落跡 「国内最古、最大級の定住化した集落跡」

大湯環状列石[秋田]…後期 日本で最大のストーンサークル 共同墓地?

正誤問題練習 <センター2010B追試験、より>

X 縄文時代になると、木の加工などが比較的容易になる磨製石器の登場によって、打製石器が作られなくなった。

Y 縄文土器は、火にかけて使用はできないので、おもに貯蔵道具や埋葬道具として用いられた。